

小国町立病院外来診療体制

平成31年2月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 柳谷(稜)4・18日 鈴木(佑)25日	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	
					伊藤副院長				
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30		山形大 菅原(心)	山形大 奥本(和)	山形大 今(孝)		
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 小林(信)4日 高橋(辰)18日 鈴木(康)25日	山形大 齋藤(あ)5・19日 藤井(隆)12・26日	山形大 松本(惇)6・13日 栗野(裕)20・27日	山形大 目黒(亨)7・21日 森(福)14・28日	山形大 橋本(多)1・15日 中村(和)8・22日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 根本(信)5・19日 松本(宏)12・26日		公立置賜総合 長谷川(浩) 7・21日 大樂(勝)14・28日	山形大 高野(満)1・15日
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 奥井(陽)
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 柴田(健)4・25日 蘆野(光)18日				
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30			櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明	
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬) 5日は休診			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)		山形大 寺田(小)		山形大 後藤(崇)		山形大 成澤(健)1・15日 杉山(元)8・22日

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 渡辺(真)5・19日 金丸(祥)12・26日	新潟大 佐久間(英)6・20日 片桐(渉)13・27日	新潟大 長谷部(大)7・21日 竹内(涼)14・28日		9日は休診	

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般的にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

眼科	2月5日(火) 休診
小児科	2月22日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)
歯科	2月9日(土) 休診(振替休診)

冬期間は降雪などの交通事情により、大学病院等からの医師の到着が遅れる場合があります。ご迷惑をお掛けしますが、ご了承ください。

※到着遅れについては、facebook、ホームページ等で周知しますので、活用してください。



小国町立病院

<http://www.ogunibyoin.jp/>

小国町立病院

検索

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

ほっと 小国町立病院 通信

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

平成31年2月1日発行

第64号

発行：小国町立病院情報管理委員会

Topics

出来事・話題

医療の質を高めるために ～癒しの園研修会～

医療メディエーションに関する癒しの園研修会を、1月22日(火)に行いました。

この日は、山形大学医学部総合医学教育センターの中西淑美先生をお招きし、『苦情クレーム対応と医療メディエーション』と題して講演いただきました。

医療メディエーションとは、患者さんと医療従事者の対話を仲介役(医療メディエーター)が促進することにより、関係の再構築を支援するしくみのことです。

このしくみを、日常の医療現場で活用し、患者さんとの関係の質を向上していくことにつなげるため、医療メディエーションにおける対応の基本を交えながら、患者さんと医療従事者双方の意見や思いを引き出すコミュニケーションスキルを学びました。



臨機応変な行動を ～火災避難訓練～

火災避難訓練を1月21日(月)に実施しました。

当日は、昼間に機械室より出火したとの想定で、火元確認から火事ぶれによる情報伝達、初期消火活動や模擬患者の避難誘導、医師・看護師によるけが人の応急救護訓練などを行いました。また、今回も、トランシーバを使った情報伝達の訓練を合わせて行いました。



訓練終了後、西置賜行政組合消防本部のかたから、シナリオがあるとしても本番の火災を想定して、火事ぶれは火元確認直後からずっと行う事や初期消火をいち早く行う事などのお話の他、家中に火災を知らせる住宅用火災報知器などの紹介もありました。

参加した職員は、訓練でも臨機応変な行動や積極的なリーダーシップの必要性を再認識していました。

高校生以下のかたは面会をご遠慮ください

町内の学校等でインフルエンザが流行しています。入院患者さんの感染防止のため、一定期間の面会制限を実施しています。

学校等の集団生活により感染の危険性が高いため、高校生以下のかたの面会をご遠慮ください。

面会するかたは

- ❖ マスクを着用してください
- ❖ 病棟入口、エレベータ横の消毒液で、手指消毒してください

※状況によっては全てのかたを対象とし面会制限を行う場合がありますので、お見舞いのかたは、来院前にご確認ください。

おくいようすけ
産婦人科の奥井陽介医師から『子宮がん検診』に関するお話です。

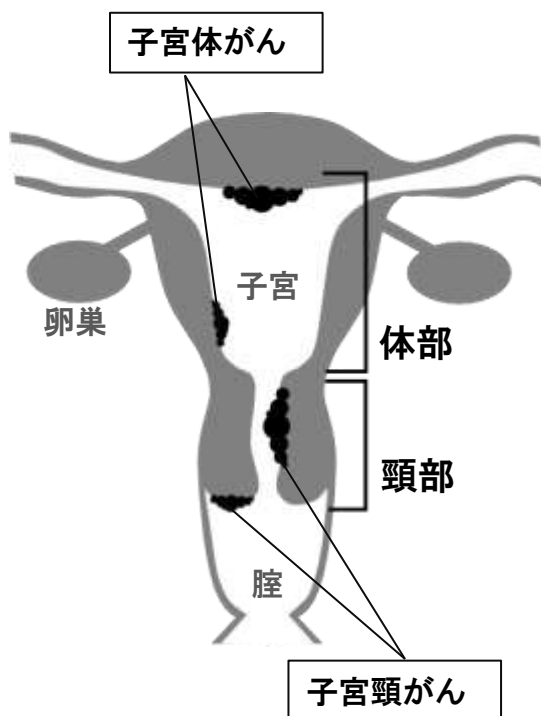
日本では約 2 人に 1 人ががんにかかり、3 人に 1 人ががんで亡くなる時代になりました。がんによる死亡を防ぐためには、がんにかからないことが重要ですが、がんにかかるリスクをゼロにすることはできません。そこで重要となるのが、がん検診です。現在、がんにかかった約半数のかたが、がんが治る時代になりました。特にまだがんが進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で治癒します。そこで産婦人科医の私からは子宮がん検診についてお話しします。女性はもちろん、男性のかたもご一読いただき、近くにいる女性のかたに子宮がん検診を勧めて下さい。



産婦人科
奥井 陽介 医師

子宮がんには大きく分けて 2 種類のがんがあります。子宮頸がんと子宮体がんです。普段、検診で行なっているのは子宮頸がん検診になります。

子宮頸がんとは、子宮の入り口である子宮頸部の細胞にがんができる病気で、日本では年間約 8,500 人が発症し、そのうち約 2,500 人が死亡しています。死亡に至らないまでも、初期のがんを除いて子宮全摘出が必要であり、その場合は妊娠や出産が望めなくなることに加えて、排尿障害などの後遺症や生活の質の低下に悩まされることもあります。近年、子宮頸がんは20 代や 30 代の若年層で増加傾向にあり、これから結婚や出産を迎える女性や若いお子さんを持つ母親にとっては深刻な問題です。若い女性の妊娠や出産の可能性を奪うがんといえます。



子宮頸がんは初期には症状がほとんどなく、自覚症状が現れる頃には病状が進行していることが少なくありません。しかし、子宮頸がん検診を受けることで、がんになる前の正常でない細胞(異形成)の段階で発見することも可能です。世界各国で子宮頸がん検診の効果は実証済みですが、日本での受診率はわずか 40% 程度です。20 歳を過ぎたら 2 年に一度、継続的に検診を受けることが重要です。

毎週金曜日に私を含め山形大学産婦人科医師が外来診療をしています。子宮がん検診はもちろんのこと、その他の症状に関してもお気軽にお尋ね下さい。

病院では、医師を中心とした様々な専門職が 1 つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



看護師(訪問看護ステーション)
小田 綾
(平成 12 年入職)



訪問看護は 24 時間体制。冬期は天気も気にしつつ、今日も患者さんのもとへ。

看護師になったきっかけや経歴を教えてください

中学生の時に虫垂炎を患い、入院していた時に会った看護師さんがきっかけです。不安でいっぱいだった私に、包み込むように接してくれた看護師さんのようになりたいと志しました。新潟県柏崎市の看護学校を卒業後、地元である新潟市内の国立療養所に就職しました。その後、平成 12 年に小国町に嫁ぎ、翌年の春、看護師として小国町に入職しました。

訪問看護師になった当時の話や魅力を教えてください

看護学校卒業後、配属された病棟は慢性期呼吸器疾患の患者さんが多く入院していたこともあり、退院されてからの療養生活のことがいつも気になっていました。小国町に嫁ぎ、入職した小国町の訪問看護ステーションで働くことにもあこがれを持っていましたが、当時は出産や育児などで看護や介護のことを考える余裕がありませんでした。生活が落ち着いたころ、家族が介護が必要な状態となったことがきっかけで、介護の知識を得たいという気持ちが強くなりました。同時に訪問看護ステーションに配属になりました。これが私の訪問看護との出会いであり、出発です。その後、介護支援専門員の資格も取得しました。

訪問看護の魅力は、患者さんとそのご家族に看護を通して寄り添い、心を通わせることのできるかけがえのない時間を共有できることです。

思い出に残っている出来事を教えてください

花火大会の花火が打ち上がる中、ご家族に囲まれ花火の音を聞きながら旅立たれた A さん。エンゼルケア(旅立ちのケア)をご家族と一緒にやり、ご本人にとって大切なお着物をお召しになられて旅立たれた B さん。

住み慣れたご自宅で、患者さんの最期の時をご家族とご一緒させていただいたことが、記憶の中に鮮明に残っています。

今後の目標を教えてください

微力ですが、人材育成の一翼を担っていきたいです。おぐに訪問看護ステーションは県立保健医療大学の慢性看護学の実習施設となっていることもあり、訪問看護の魅力をしっかりと伝えられ、心を動かすことのできる看護師でありたいと思っています。

注意！ ヒートショック！

ヒートショックとは・・・

急激な温度変化による血圧の急変をきっかけに起こる健康被害を言います。脳卒中や心筋梗塞、失神などを起こしたり、入浴中の溺死や急死につながったりすることもあります。特に高齢者や高血圧、糖尿病、脂質異常症があるかたは、血圧の変化が起きやすいのでより注意が必要です。

入浴時のヒートショックを防ぐ 6 箇条

1. 入浴前に脱衣所や浴室を温める
2. 湯温はぬるめにする
3. かけ湯で身体をお湯に慣らす
4. 浴槽から急に立ち上がらない
5. 食事直後・飲酒時の入浴は控える
6. 同居する家族がいる場合は一声掛けてから入浴する



FREE



無料 Wi-Fi サービスを提供しています

当院では、患者さん等の外来待ち時間を有効に活用いただくため、1 階外来待合にて無料 Wi-Fi サービスを提供しています。

SSID 及びパスワードについては、院内の掲示物にてご確認ください。

なお、備え付けの利用規約にご同意の上、ご利用くださいますようお願いいたします。